

全国を目指して 愛成学園大学吹奏楽部 密着ダイジェスト

番組	しずおかイブニング「まちの元気応援団」
取材先	静岡県・愛成学園大学 吹奏楽部
中心人物	山本愛菜（3年・チューバパート・主将）

番組の概要

全国学生吹奏楽コンクールを目前に控えた吹奏楽部を紹介する約2分半の密着ダイジェスト。主将・山本愛菜のインタビューなどを静岡テレビ「しずおかイブニング」内でテレビ放送して頂きました。



山本愛菜へのインタビュー

主な場面

インタビュー：「低音で支えることで音楽全体がまとまる」と、チューバの魅力を語る。

3人の談笑：山本・鈴木拓馬・岩永唯香が、練習やコンクール後の旅行について笑いながら話す。

楽譜をなくす：山本が楽譜を見失い、別の部員に見つけてもらう。

何も無い場所でつまづく：移動中に足を取られ、椅子に手をついて転倒を免れる。

合奏中の指導：音が揃わない場面で演奏を止め、部員へ「しっかり聞いて！」と声をかける。

番組内の流れ

00:00 - 00:20	大学外観と練習室を紹介。部員数や練習頻度をナレーションで説明。
00:20 - 00:49	山本へのインタビュー。チューバの魅力と主将としての立場を語る。
00:50 - 01:15	鈴木・山本・岩永の座談会。3人の親しさが伝わる。
01:16 - 01:36	山本が楽譜を探す場面と、何もない場所でつまずく場面。
01:37 - 02:03	合奏中に山本が演奏を止める。画面テロップは「しっかり聞いて！」。
02:04 - 02:27	再び合奏が始まり、全国大会への挑戦を伝えて終了。



チューバパート3人の座談会



合奏中には厳しく指導する場面も

映像から受ける印象

初見では、仲の良い部員たちと責任感の強い主将を紹介する明るい密着企画に見える。一方で、楽譜の紛失、障害物のない場所でのつまずき、「しっかり聞いて」という言葉は、事件後に見返すと別の意味を持つ場面として残る。